

ドレンクリーナ

# ミニ・ルーター XP 取り扱い説明書



はじめに・・

**ミニルーター X P 32 ~ 100 mm**

( 1・1/4 ~ 4" ) 排水管用

ご購入のミニルーター (Mini-Rooter) XP は、長期間にわたって故障がなくご使用戴けるように設計されています。しかし、機械は使用の方法により十分な性能を発揮できず、また故障や安全を損なう原因にもつながることにあります。

ミニルーター (Mini-Rooter) XP を効果的に安全に、ご活用戴くためにもご使用前に必ずこの取り扱い説明書をよくお読みください。

**目次**

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 安全に確実にご使用いただくための注意事項 | ページ |
| 注意！ - その1 作業前に・・     | 2   |
| 注意！ - その2 漏電遮断器の作動確認 | 2   |
| 注意！ - その3 その他        | 3   |
| 注意！ メンテナンスは？         | 3   |
| ケーブルの用途              | 4   |
| カッター・ヘッドの選択例         |     |
| 仕様表 (表3)             |     |
| 1 各部の名称              | 4   |
| 2 取り扱い手順             |     |
| 1) , 準備              | 5   |
| 2) , 漏電遮断器動作確認       | 5   |
| 3) , 操作開始・・          | 6   |
| 手順詳細                 | 6   |
| ケーブルが排水管内で引っかかったら    | 7   |
| ケーブルがドラムの中で絡まったら     | 7   |
| 1/2"インチケーブル取り替え方法    | 7   |
| 装置からドラムを外す方法         | 8   |
| 4) トラブルシューティングおよび修理  | 8   |
| 3 . 保守               | 9   |

**警告！**

本説明書をすべて読んで理解してください。

説明事項にない操作や取り扱いによっては、作業員自身やその他の人身傷害、機械の故障、感電、火災などの重大なトラブルを発生する可能性があります。

以降の注意事項を必ず守ってください。

安全に確実にご使用いただくために・・・

### 注意！—その1 作業前に・・・

- 正しく設置されたコンセントに装置のプラグを差し込んで下さい。  
疑わしい場合は、装置のプラグを差し込む前にコンセントを**確認**して下さい。  
電源コードは切れたり磨り減ったりした箇所がないかも**確認**して下さい。
- 装置付属の電源コードの長さが足りない場合は、必ず破損していない3線式の重負荷用延長コードを使用して下さい。  
軽負荷用コードを使用すると電力損失が生じてモーターが過熱したりコードが焼けて火災の発生する恐れがあります。
- 作業する場所が濡れている場合は、ゴム製の長靴と手袋を着用して下さい。  
水中に立った状態で装置を**操作しないで下さい**。
- この装置は一人で操作できるように設計されています。
- 装置を操作する際は、**保護めがね**を着用して下さい。
- ケーブルを操作する際は、必ず皮製の手袋を使用して下さい。  
**布製の手袋は使用しないで下さい**。布製の手袋を使用しますと、回転しているケーブルに巻き込まれる恐れがあります。
- 腐食性のある排水管洗浄剤は、作業を開始する前に排水管から**洗い流すか中和**して下さい。  
これらの化学薬品が付着すると、作業者がけがをするかケーブルが破損する恐れがあります。
- 作業を開始する前には必ず**ケーブルを確認**して下さい。  
ケーブルをドラムから引き出して磨り減ったり破損がないか確認して下さい。  
磨り減ったケーブルは、必ず純正の GENERAL 交換用ケーブルと交換して下さい。  
ケーブルはドラム内に**ねじれやからみの無い状態**で収納されていることが原則です。

### 注意！—その2 漏電遮断器 (GFI) の作動確認

この装置には漏電遮断器が装備されており、万一短絡が発生した場合に感電を防止するようになっています。

使用する前に次の手順で必ず漏電遮断器の動作テストをして下さい。

1. プラグを電源コンセントに挿入して下さい。
2. 「テスト」ボタンを押して**表示ランプが消灯するのを確認**してください。  
装置の電源スイッチをONに入れても電気はOFFの状態にあるはずです。
3. テストボタンを押しても**表示ランプが消灯しない場合は使用しないでください**。  
ただちに装置を点検に出し、検査・修理を行ってください。
4. テストが終了したら**装置の電源スイッチをOFFに戻し**、「リセット」ボタンを押します。  
電源コンセントから漏電遮断器に至るまでのコード部分は感知されないので注意して下さい。  
リセットボタンを押すと装置が始動しなくなったり、装置が停止したりする場合、あるいは作業者が軽く電気を感じるような場合にも、装置を使用しないで下さい。  
モーターの修理店に持っていか、販売店に返送して工場修理に出して下さい。

### 注意！—その3 その他

1. 作業現場は整備し、また十分に明るくしてください。
2. 引火性液体、ガスや埃のような爆発性環境の中では、操作しないでください。
3. 装置を操作している間は、子供や操作に関係のない者を近寄らせないでください。
4. 操作に関係ない者は工具や延長コードに触らせないようにしてください。
5. パイプ、ラジエーター、レンジや冷蔵庫などの金属外面に体が触れないようにしてください。
6. 雨や水がかかり、装置が湿った状態にならないようにします。
7. コードをロープ代わりにしたり、コンセントから抜くために直接引っばったりしないでください。
8. 疲れていたりアルコールなどの影響を受けていたり、薬を服用している場合には操作をしないでください。
9. だぶだぶの衣服や貴金属は着用しないようにします。髪が長い場合も注意してください。髪、衣服や手袋は可動物に近づけないように注意してください。
10. 電源コードをコンセントに差し込んだ時に突然始動しないように必ずスイッチはOFFの状態にしておいてください。
11. 装置に電源を入れる前には、点検や清掃などに使用した工具等を必ず取り外してください。
12. 適切で無理のない姿勢を保ってください。
13. 給送スピードや回転を適切にコントロールし、必要以上に負担を工具にかけないようにします。
15. 調整、アクセサリーの交換や工具の補修時には、プラグを電源から抜いておいてください。
16. 装置を使用しないときは、子供や訓練を受けていない者の手が届かない場所に保管してください。
17. 装置は注意して管理してください。工具は作業後に洗浄して清潔に保管します。
18. 乾燥した場所に装置を保管してください。良い保管の状態にて漏電の危険を避けてください。

### 注意！ —メンテナンスは？

1. 有資格修理作業者のみが装置のメンテナンス（保守整備・修理）を実施することができます。無資格者がメンテナンスまたは分解などを実施すると、機械の故障や事故を発生させる危険があります。
2. 装置の修理を実施する場合には、同一の交換部品にて行ってください。
3. 本取り扱い説明書の保守項目の指示に従ってください。推奨していない部品を使用したり、保守時の指示に従わなかったりした時には、装置の故障や事故の発生する危険があります。

## ケーブルの用途

| ケーブル・サイズ       | パイプ・サイズ                       | 典型的な用途                         |
|----------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 9.5 mm op ケーブル | 2 ~ 3 インチ<br>(50 mm ~ 75 mm)  | 比較的大きな<br>台所の流し、浴槽、およびシャワーの排水口 |
| 12.7 mm        | 3 ~ 4 インチ<br>(75 mm ~ 100 mm) | 煙突、細い排水管 (地下部なし)               |

## カッターの選択例

| 何種類かのカッターを選択できます (ケーブル 12.7 mm・9.5 mm 用カッターヘッド) |                |                        |
|-------------------------------------------------|----------------|------------------------|
| AH                                              | アロー・ヘッド        | 初期清掃用、切削および掘り出しに適しています |
| BG                                              | ボーリング・キリ       | 初期清掃用、はがれやすい物を除去します    |
| 1½ UC                                           | 1½ インチ U カッター  | 仕上げ用、油脂による詰まりに適しています   |
| 2 UC                                            | 2 インチ サイド・カッター | 仕上げ用、パイプの内側を磨きます       |

\* どのカッターを使うかについては、これといった決まりがあるわけではありません。  
一つのツールで詰まりを取り除くことができれば、別のツールで試して下さい。

## 仕様表

| 項目 \ 型式 (名称)   |       | Mini-Rooter XP (ミニ・ルーター XP)                   |
|----------------|-------|-----------------------------------------------|
| 品 番            |       | 441030                                        |
| 寸 法 mm         |       | 610 (L) × 457 (W) × 965 (H) : ハンドル収納時:        |
| 本 体 重 量        |       | 23 kg                                         |
| モーター           | V / W | 100 (V) / 250 (W) AC 電源 50 Hz / 60 Hz         |
|                | 回 転 数 | 165 rpm                                       |
| 標準ケーブルサイズ      |       | φ 12.7 × 22.5 m                               |
| 標準付属ヘッド (カッター) |       | アローヘッド・ボーリングギムレット<br>1½" U カッタ 2"・サイドカッターブレード |
| 付 属 品          |       | ガイドコイル管                                       |
| 最大キャパ標準ケーブル    |       | φ 12.7 × 22.5 m (φ 9.5 × 22.5 mop ケーブル)       |

## 1, 各部の名称



## 2, 取り扱い手順

### 1), 準備

- 1, ケーブル先端のカッターと接続ネジを外します。
- 2, 給送ローラーの加圧ノブを緩め、上部ローラーの押し力をなくしケーブルを60センチ程度引き出します。
- 3, 加圧ノブを締めてローラーがケーブルに接触するようにしておきます。  
(ローラーがケーブルに接触すると、ケーブルを引いたり押ししたりする手ごたえが重くなるのでわかります。)
- 4, ガイドコイル管を取り付けてノッチピンで固定します。

加圧ノブをゆるめ、  
ケーブルを引き出す。



ガイドコイル管

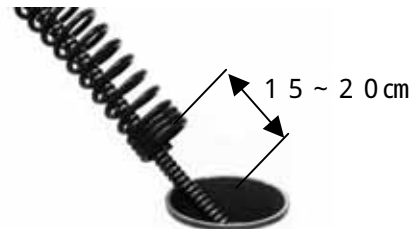
ノッチピンを穴にはめ込む

- 5, 好みのカッターを取り付け、接続ネジをしっかりと締め込みます。  
最初はアロー・ヘッドかボーリング・キリを用いて、貫通したらより大きな刃に換えてパイプの内側を磨き、確実に掃除をすると良いでしょう



しっかり止めておく

- 6, 装置を所定の位置に置きます。  
ドレン開口部から本体が約60cm前後の位置とし、ガイドコイル管が緩い湾曲でドレン開口部に対し15～20cmのところにくる位置が良い



- 7, ガイドコイル管を排水口に挿入します。  
給送ローラーの加圧ノブをさらに2回転ほど回して上部ローラーに押し力を与えておきます。  
\*加圧力を強くしても給送スピードが速くなることは有りません。強く押しすぎるとローラーやケーブルを痛める原因になるので注意してください。\*

注記) 上記のようにドレン開口部に近づけることができない場合は、ケーブルがホイッピング(むちのように急に跳ねること)するのを防止するために、金属パイプ等を誘導管にしてケーブルを保持するようにして下さい。

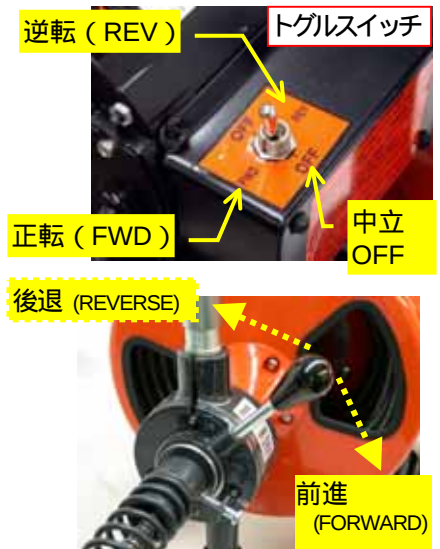
### 2), 漏電遮断器動作確認 (作動がおかしいときは「注意! - 1」に従って対処してください)

- 1, プラグを電源コンセントに挿入して「テスト」ボタンを押し表示ランプが消灯するのを確認します。
- 2, 本体のトグルスイッチ「正転/OFF/逆転スイッチ」を一旦ONにしてモーターが回らないことを確かめます。
- 3, ONしたトグルスイッチをOFFにし「リセット」ボタンでランプを点灯状態に復帰させれば確認終了で、正常な状態です。



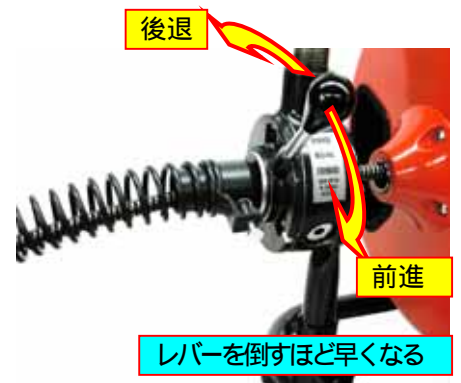
### 3) , 操作開始..

- 1 , ドレン内にケーブルを挿入し、フットペダルを踏んで下さい。  
このときのモーターのスイッチ（トグルスイッチ）は必ず正転位置にセットしておきます。
- 2 , 給送レバーを倒す量によってケーブルの進む早さが調整できます。  
ドレン内の状況に合わせて給送スピードをコントロールすることが大切です。  
最初はアロー・ヘッドかボーリング・キリを用い、貫通したらより大きな刃に換えてパイプの内側を磨き、確実に掃除をすると良いでしょう。



### 手順詳細

- 1 , ガイドコイル管をしっかりと持ってケーブルをドレン内に給送してください。
- 2 , 詰まっている部分には均一な力で押し当てて行くように送量をコントロールして下さい。  
詰まっている部分にカッティングツールを無理やり押し付けるとケーブルに過度な力が加わりケーブルがはねたり、ねじれたりして機具の損傷や事故につながる可能性があります。
- 3 , 詰まり物の状況に合わせて給送レバーで速度を調整し、またカッターを上手に使い分けて下さい。
- 4 , ケーブルを開口部から余分にたるませないで下さい。  
ケーブルがはねる恐れがあります。  
ケーブルが折れ曲がったり過度にねじれたりし始めたら、**給送レバーを切り替えて巻き取り気みにしてみてください。**
- 5 , 床の排水口で作業する場合は、操作中または操作後に排水管に水を少し流してやると、切削したかすが洗い流されて作業しやすくなります。
- 6 , 屈曲した部分で行き詰ったら、圧力を加えたままでトグルスイッチを切り替え、装置を逆転させてみて下さい。  
\*この操作は一度に数秒以上行わないで下さい。  
ドラムの中でケーブルがからまったり、ねじれが生じたりする恐れがあります。  
それでもなお屈曲した部分で行き詰まるようなら、使用しているケーブルが太過ぎると思われます。  
**ドレン径に合った直径の細いケーブルの機種で作業してください。**
- 7 , 排水管が貫通したら、モーターを正転のままで給送レバーを上（巻き取り）に切り替えてケーブルをドラムに戻して下さい。  
ドラムや排水管の中でケーブルが絡まるのを防ぐため、くれぐれもモーターを逆転して巻き取りしないでください。「これは重要です。」



## ケーブルが排水管の中で引っかかったら

排水管の中でケーブルが引っかかったら、モーターをほんの少し逆転してケーブルにかかった力を取り除き、モーターの停止した状態でケーブルを手で引っ張ります。

- 1, トグルスイッチを逆転にしてフットスイッチでモーターを少しだけ回転させ、ケーブルのねじれを取り除きます。
- 2, 停止状態でケーブルを手で引っ張ります。  
**注意！**：フットスイッチには絶対に足をかけておかないこと。
- 3, ケーブルにかかる力が抜けて少し前後に動くようになったら、トグルスイッチを正転位置にして給送レバーにてケーブルを巻きとって（REVERSE にして）みます。

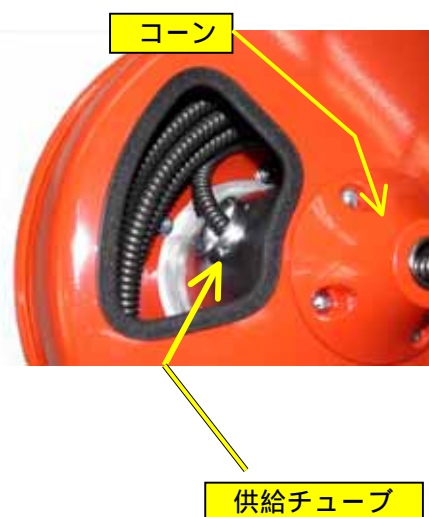
## ケーブルがドラムの中で絡まったら

原因のほとんどは、ケーブルの給送スピードが早過ぎたり、装置を逆転させながらケーブルを回収したことで起こっています。絡みを解くには、ドラムを逆方向に回転させてねじれを取り除きます。早期の段階で装置を停止していればケーブルがひどく絡まることはありませんが、もしそうなってしまった場合には、供給チューブ（装置正面からドラム内に通った湾曲したケーブルの誘導管）を装置から外さなければならなくなることもあります。

ドラムの正面から供給チューブのコーンを固定しているボルトを緩めて分解する必要が有ります。

供給チューブをフリーにしてケーブルの絡まった部分をドラムから引き出してください。

ケーブルをまっすぐに伸ばしたら、供給チューブをスライドさせてコーンをケーブルユニットに沿って元の位置に戻し、ゆるめたボルトで固定します。そして出過ぎたケーブルをドラムに戻します。



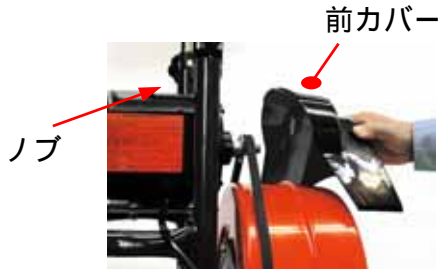
## ケーブル取り替え方法

1. ドラム内部には、ケーブル終端コネクターがあります。ケーブルの終端部をドラムコーンの口元まで手で引き出します。
2. コネクターで接続されているねじを外します。
3. 新しいケーブルをコネクターの切りかきにはめ込み、ねじでしっかりと固定します。
4. 終端コネクター部がドラムの内周に巻き上がるまで手で押し入れます。
5. ドラムを片方の手で右（時計方向）に回しながら、もう片方の手でケーブルをドラムに押し込みます。ある程度送り込んだらドラム正転で給送レバーにて収納してください。**注意！**外に出ているケーブルのよじれや飛び跳ねに注意！



## 装置からドラムを外す方法

1. モーター前カバーを外します。  
カバー上部のノブを緩めると外すことができます。



2. Vベルトを外します。  
モーターはバネ荷重式になっており、これを押し下げるとベルトが緩みます。

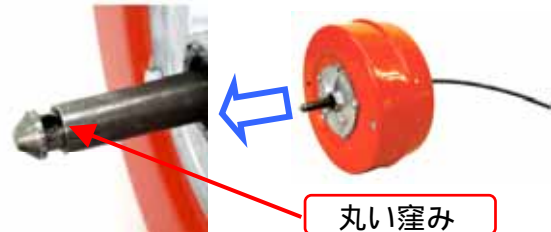


2. ドラムを前方へ引き出して外します。  
背面の固定ラッチを引きながらドラムを装置の前方に引き出します。



ラッチを引きながら…ドラムを引き出す

3. ドラムを取り付ける際は、これと全く逆の手順で行います。  
ラッチをドラム軸の溝にある丸い窪みにきちっとはめ込んでください。



## 4) , トラブルシューティングおよび修理

うまく給送できない場合は、原因として次のような可能性があります。

### 1 - : 汚れの蓄積 :

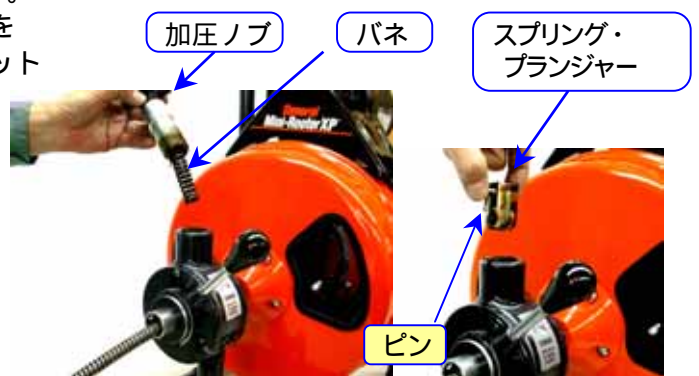
汚れの固着によりローラーが回らなくなることがあります。通常は水洗いと注油で修復できます。が…

\* 分解しなければならない場合は、次の手順で行います。

1. 給送制御ハンドルをニュートラル位置にします。  
制御プレートと制御ユニット本体の同スリットを合わせておく事でプランジャーやローラーユニットが取り出しやすくなります。

2. パワーフィーダ上部の加圧ノブ、バネおよびスプリング・プランジャーを取り外します。

固着してスライドしにくい時はスリットを確認しながら、油等で軟化させドライバー等でピンを引っかけるようにして引き上げます。  
(注！力任せで同ピンを潰さないように注意。)



3. 底部ハウジングの外側にあるC型止め輪を外し、平ワッシャーを押し出して下さい。  
ローラーユニットを取り出すことができます。(2カ所あり)  
\* C型止め輪用スパナ (中型サイズ) は市販品を使用。  
(オプションでは有りません)



C型止め輪



平ワッシャー



ローラー・ユニット

4. 組み立てる際は、逆の手順で組み付けを行います。

ローラーユニット（スプリング・プランジャー）、平ワッシャ（バネ）、C型止め輪（加圧ノブ）の順に組み込んでください。

#### 2 - : ローラーの破損 :

何度も使用しますとローラーが摩耗して故障することがあります。

磨耗が見受けられたら寿命を完全に復活させるため、3つのローラーを同時に交換して下さい。

（注文部品番号 # P0-MR-703）

#### 3 - : 押さえバネの破損 :

バネの破損や摩耗によりローラーを押す圧力が低下してケーブルの推力が弱くなります。

必要に応じて交換して下さい。

#### 4 - : 供給チューブの固着 :

ケーブルを手で出し入れしてドラム内で回転するようにして下さい。

供給チューブはドラム内で自由に回転しなければなりません。

通常は作業終了後に清掃し、潤滑油を塗布すれば発生しません。

#### 5 - : ケーブルのねじれ :

ドラムの中でケーブルがかさなって巻かれると正しく引き出せなくなります。ケーブルを取り出してもう一度しまい直して下さい。

ケーブルがねじれている場合は使い方を誤ったり、過剰な圧力を加えて使用したり、あるいは太過ぎる排水管に使用した証拠です。ケーブルに力をかけて作業するのではなく、カッターを活用して下さい。

## 3 , 保守

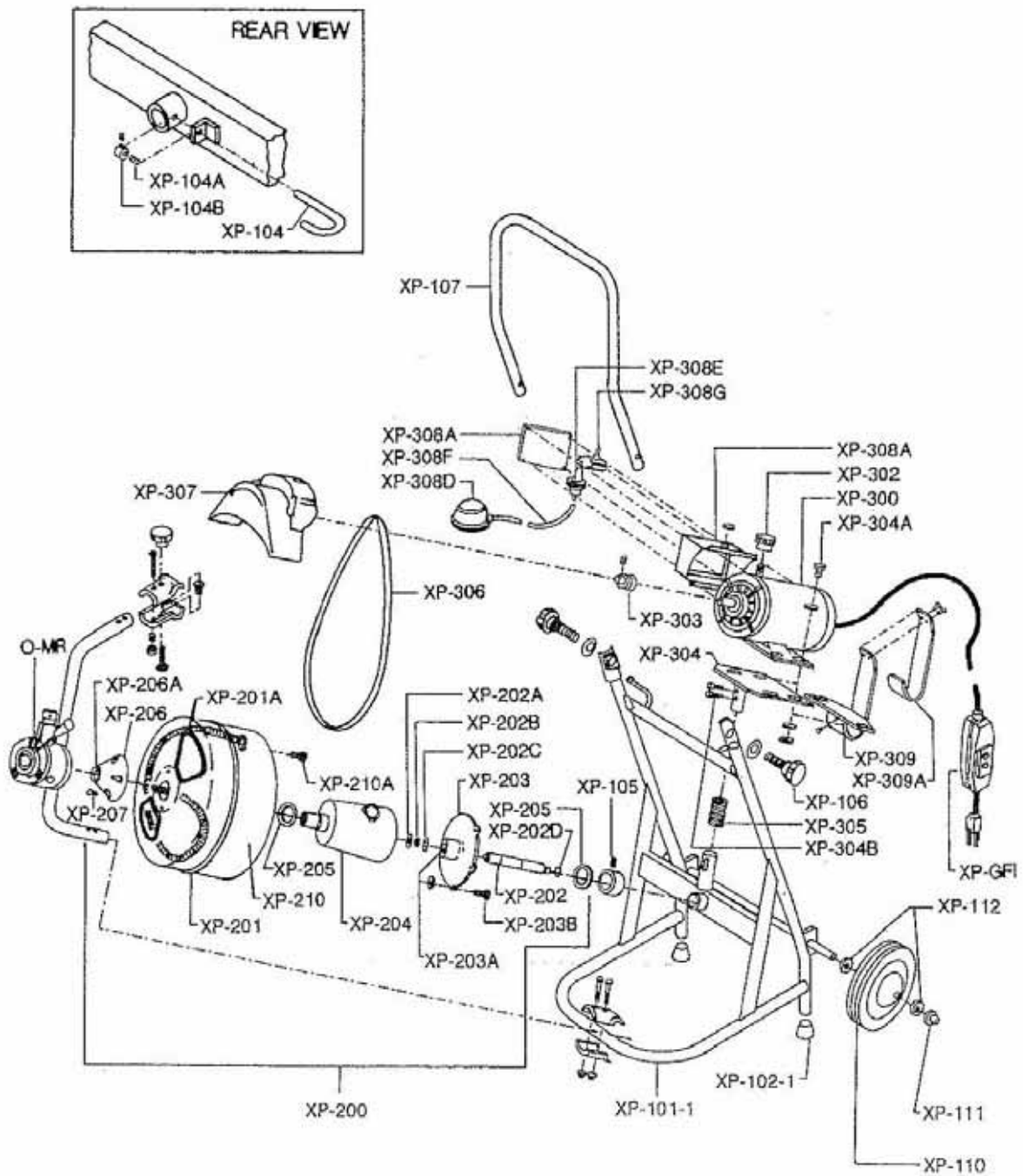
給送ユニットに泥や砂がたくさんつかないようにして下さい。給送ユニットは、流水で洗い流してから、可動部に軽く油を差して下さい。通常は分解する必要はありません。

ケーブルを最大限に利用するため、必ず十分に注油して下さい。

定期的の実施して頂くことが重要です。また作業終了時に洗浄し、水分を落として注油して頂く方がより効果的でしょう。

注油の一つの方法として、ドラムの中に潤滑油を直接注ぎ込み、ドラムを回転させてケーブルにむらなく循環させるやり方もあります。殺菌・消臭効果のある潤滑油をご使用いただくと良いでしょう。

### MINI-ROOTER XP SCHEMATIC DIAGRAM



## MINI-ROOTER XP

### パーツリスト

| カタログ No. | 内容                                | カタログ No. | 内容                                           |
|----------|-----------------------------------|----------|----------------------------------------------|
| XP-100-1 | フレーム・アセンブリー式                      | XP-207   | 丸頭押さえネジおよびワッシャー(4)                           |
| XP-101-1 | フレームのみ                            | XP-210   | ドラム接続ケーブル                                    |
| XP-102-1 | ゴム足 ワッシャーおよびナット(2)                | XP-210-A | 接続ケーブル ボルト、ナットおよび止めワッシャー                     |
| XP-104   | ドラム・シャフト固定ピン                      | XP-300   | モーター (1/3 馬力、漏電遮断器 エアフットスイッチ<br>および反転スイッチ付き) |
| XP-104-A | 固定ピンバネ                            | XP-302   | ベルト・ガード固定ノブ                                  |
| XP-104-B | 固定ピンカラー (位置決めネジ付き)                | XP-303   | Vベルト・プーリー                                    |
| XP-106   | ハンドル固定ノブ (ワッシャー(2)付き)             | XP-303-1 | 安全スリップ・クラッチ                                  |
| XP-107   | 折り畳み式ハンドル                         | XP-304   | モーター・サポート (ナット、ボルトおよび<br>ワッシャー付き)            |
| XP-110   | 8 インチホイール                         | XP-304-A | ナット、ボルトおよびワッシャー                              |
| XP-111   | ホイール固定キャップ                        | XP-304-B | 主ネジ(2)                                       |
| XP-112   | ホイール・スペーサ(4)                      | XP-305   | モーター・サポート・バネ                                 |
| XP-200   | ドラム・アセンブリー式 (内側ドラム付き・<br>内蔵タイプ)   | XP-306   | Vベルト (45 インチ)                                |
| XP-200-O | ケージ・アセンブリー式 (内側ドラム付き・<br>オープンタイプ) | XP-307   | ベルト・ガード                                      |
| XP-201   | ドラム・シェル                           | XP-308   | エアフットスイッチおよび反転スイッチ・アセンブリ                     |
| XP-201-A | エッジング                             | XP-308-A | ボックスのみ (カバーおよびネジ付き)                          |
| XP-202   | ドラム・シャフト                          | XP-308-B | フット・ペダルおよびホース                                |
| XP-202-A | フロント・シャフト固定リング                    | XP-308-C | ホース・クランプ(2)                                  |
| XP-202-B | 平ワッシャー                            | XP-308-D | フット・ペダルのみ                                    |
| XP-202-C | 平ワッシャー                            | XP-308-E | 電源スイッチ・ダイアフラム                                |
| XP-202-D | リア・シャフト固定リング                      | XP-308-F | エア・ホースのみ                                     |
| XP-203   | リア・ハブ・アセンブリ (ブッシング付き)             | XP-308-G | 反転スイッチ (3回路)                                 |
| XP-203-A | ハブ・ブッシング                          | XP-308-H | ゴム・スイッチ・ブーツ                                  |
| XP-203-B | ネジ ナットおよび止めワッシャー(5)               | XP-309   | モーター・ガード (ナイロン・ストリップ付き)                      |
| XP-204   | 供給チューブおよび内側ドラム・アセンブリ              | XP-309-A | ナイロン・ストリップ                                   |
| XP-205   | ファイバ・ワッシャー                        | XP-GFI   | 漏電遮断器 (10 フィート・コード付き)                        |
| XP-206   | フロント・ハブ (ブッシング付き)                 | PO-MR    | MiniRooter Power Feed                        |
| XP-206-A | フロント・ハブ・ブッシング                     | MR-GT    | ガイド・チューブ                                     |

# REX

www.rexind.co.jp

## レッキス工業株式会社

|        |           |                   |                  |
|--------|-----------|-------------------|------------------|
| 東京支店   | 〒170-0013 | 東京都豊島区東池袋3丁目13番8号 | Tel.03(3980)5341 |
| 大阪支店   | 〒578-0948 | 東大阪市菱屋東1丁目9番3号    | Tel.072(965)9811 |
| 札幌営業所  | 〒006-0832 | 札幌市手稲区曙2条4丁目3番31号 | Tel.011(682)3711 |
| 仙台営業所  | 〒984-8651 | 仙台市若林区卸町3丁目1番13号  | Tel.022(232)1697 |
| 東京営業所  | 〒170-0013 | 東京都豊島区東池袋3丁目13番8号 | Tel.03(3980)5341 |
| 前橋営業所  | 〒371-0846 | 群馬県前橋市元総社町932番8号  | Tel.027(253)8691 |
| 神奈川営業所 | 〒243-0804 | 神奈川県厚木市関口150番地の1  | Tel.046(245)3981 |
| 名古屋営業所 | 〒454-0806 | 名古屋市中川区澄池町9番3号    | Tel.052(351)1551 |
| 大阪営業所  | 〒578-0948 | 東大阪市菱屋東1丁目9番3号    | Tel.072(965)9811 |
| 高松営業所  | 〒760-0072 | 高松市花園町3丁目7番22号    | Tel.087(834)3982 |
| 広島営業所  | 〒734-0022 | 広島市南区東雲2丁目15番11号  | Tel.082(284)8085 |
| 九州営業所  | 〒816-0082 | 福岡市博多区麦野3丁目18番26号 | Tel.092(583)1110 |
| 本社     | 〒542-0086 | 大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号 |                  |
| 工場     | 〒578-0948 | 東大阪市菱屋東1丁目9番3号    |                  |

お客様相談窓口

 **0120-475-476**

受付時間：月～金・9:00～12:00 13:00～17:00